

えんとつ

～資源循環型社会を目指して～

3市共同資源化事業と組合のごみ処理施設の現状と今後について

1 3市共同資源化事業について

3市共同資源化事業については、広報えんとつ（全域版）でお知らせいたしました。平成33年のごみ焼却施設の更新を視野に入れ、小平市、東大和市及び武蔵村山市の3市地域の循環型社会の形成を目指し、資源を含む廃棄物処理の将来の方向性を決めるもので、平成15年度から3市及び小平・村山・大和衛生組合（以下「組合」という）（4団体）が進めている事業です。

事業の内容ですが、ソフト面では、資源化基準の統一及び3R（Reduce（リデュース）「発生抑制」、Reuse（リユース）「再使用」、Recycle（リサイクル）「再生利用」）の推進を図り、望ましい循環型社会の形成を目指すことなど、ハード面では、資源物の共同処理について、東大和市暫定リサイクル施設用地を活用し、具体化すること、また、不燃・粗大ごみ処理施設について、小平市清掃事務所用地を活用して更新することを内容としています。

2 組合のごみ処理施設の現状

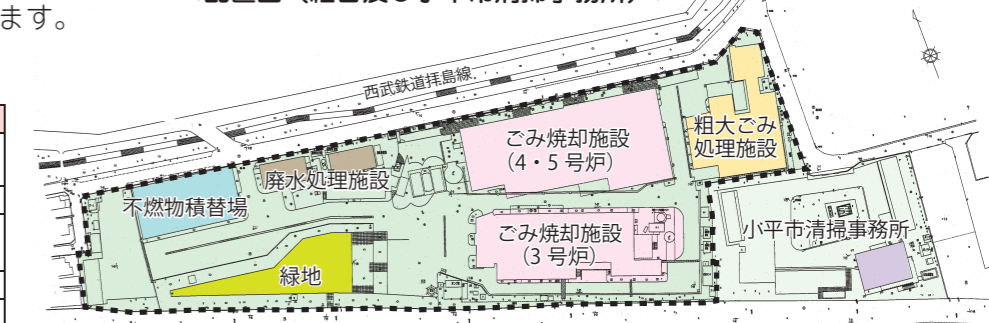
(1) 主要施設について

組合の敷地内には、3市34万人から排出される廃棄物（ごみ）の中間処理を行なうために、以下の施設が設置されています。

＜主要施設等の内容＞

項目・施設名	能力等	しゅん工・設置、年月
粗大ごみ処理施設	処理能力：75t/5h	昭和50年10月しゅん工（H9改造）
ごみ焼却施設	3号炉 処理能力：150t/24h	昭和50年 3月しゅん工（H2改造）
	4号炉 処理能力：105t/24h	昭和61年11月しゅん工
5号炉	処理能力：105t/24h	
不燃物積替場	面積：約690㎡	昭和43年12月設置
廃水処理施設	処理能力：51m ³ /24h	昭和50年 3月しゅん工

＜配置図（組合及び小平市清掃事務所）＞



(2) ごみ搬入（処理）量の経年変化について

組合に搬入（処理）されるごみの量は、設立当初（昭和40年）から人口の伸びに比例して、著しい増加傾向にありましたが、平成2年度の99,839t/年をピークに、人口の微増は続いているものの、減少傾向となりました。

特に、平成15年度からは減少傾向にあり、平成21年度には74,613t/年まで減量されました。しかし、その後のごみ量は、横ばいの状況が続いています。

(3) 組合の課題について

組合のごみ処理施設は、昭和61年度に主要施設の設置により、現在のごみ処理の体制が整備されました。しかしながら、一般のごみ処理施設は、おおむね30年程度で更新されており、施設の老朽化が進んでいる状況にあります。また、施設については、現在までに、公害防止規制の強化、地域住民の皆様の要望及び最終処分場の搬入基準の変更などへ対応するため、施設の改修等（改造や設備の増設など）を行っており、これ以上の延命化は、建物の耐用年数から見ても大変厳しい状況にあります。

現在、3市と組合の4団体で進めている3市共同資源化事業の中で、現粗大ごみ処理施設の不燃・粗大ごみ処理施設への更新が、喫緊の課題となっており、その先には平成33年の焼却施設の更新が迫っています。

3 粗大ごみ処理施設の今後

組合で運営している現粗大ごみ処理施設は、老朽化等で、更新の時期を迎えていますが、ここで新たに更新を予定している不燃・粗大ごみ処理施設は、3市共同資源化事業の中で、4団体で協議を進めており、その規模は、3市共同資源化事業の一つである「3市共同資源物処理施設」の整備により、現状の75t/日から55t/日以下への縮小が見込めることになっています。今後、4団体が確認した、「3市共同資源化事業に関する基本事項」に基づき、4団体が一体で事業を進めていきます。

・こまめな足湯であるが、昨年12月に4日間ゆず湯を開催した。
・現在、足湯の運転を1基運転としているので、東屋のある足湯1槽の運営のみとなり、ご協力をお願いしたい。
・足湯の工事等については、足湯C床張り工事、土間工事等を予定しており、地域共生事業として、えんとつフェスティバル実行委員会への補助金を予算化したので、協力をお願いしたい。
・3市共同資源化事業についてであるが、現在、2月14日から17日まで住民説明会を開催したが、今後、3月17日から21日に、3市市民を対象とした説明会を開催するので、よろしくをお願いしたい。なお、既に実施した住民説明会の概要を事務局より説明する（事務局より概要説明）。

＜質疑等＞

・予算以外の議会の5件はどのような内容なのか。
⇒専決が1件、条例が2件、補正予算が1件、予算関連が1件ということである。
・焼却施設の老朽化については、議会で話し合っていないのか。
⇒今回はないものである。
・桜が丘の状況と反応は。
⇒平成15年から事業を進めてきたわけであるが、廃棄物を安定的に処理する義務や桜が丘の想定地周辺の環境変化等がある中で、事業を進める必要があるということで、6品目処理施設を2品目処理施設へと見直しを行い、本年1月に新たな形で、住民の理解をいただく中で、事業を進めさせていただきたいという説明に至ったところである。説明会へ出席された方からは厳しい意見等もいただいているが、今後も事業への理解協力を求めていきたいという形となっている。
・小平の小川東では、びん・かんの処理を行っているが、今後も行うのか。
⇒3市共同資源化事業の方向が示されたばかりで、処理体制は具体的に決まっていない状況である。
・全て6品目をやってもらいたいが、2品目でも受け入れざるを得ないと思っている。
・中島町は、ごみ焼却施設等に囲まれた三角地帯で、ごみのまちのイメージがつかなく

を懸念している。
・いずれにしても2品目施設でもつくっていかないことには、焼却施設の計画もできないと思っている。

(2) 自治会長・専任者の届出について

【事務局】

・連絡協議会の構成メンバーの小平市中島町及び立川市幸町の12自治会において、新年度に役員の改選が行われることに伴い、新たに連絡協議会構成委員となる自治会長及び専任者の名簿の提出をお願いするものである。
・提出期限は4月末までとし、期限内に選出ができない場合、あるいは役員の改選がない自治会については、事前に連絡をいただきたい。

(3) 施設見学会について

【事務局】

・日程については、平成25年3月26日（火）午前8時に集合、出発、午後4時30分に集合到着、解散の予定である。
・見学場所は、埼玉県川越資源センターであり、ごみ焼却施設、資源化センター、環境プラザの施設見学を90分予定している。施設見学会の行程表を配布するので、ご確認ください。また、参加者数は40名を予定しており、原則自治会長及び専任者は参加をお願いしたい。また、自治会ごとの参加者数は、事務局で配分させていただいたので、参加申込書を3月5日（火）までに事務局へ提出していただきたい。
・人数の増を希望される自治会は事務局まで連絡いただきたい。

(4) その他（意見・要望等）

特になし。

3 閉会

報告

第10回 えんとつフェスティバル2012



「つなげよう資源の輪 広げよう地域の和」をテーマにしたイベント「えんとつフェスティバル2012」が昨年の10月13日（土）に開催されました。当日は天候にも恵まれ、たくさんの方々にご来場いただきました。今年度は、第10回の記念事業として、実行委員や地域委員の方々への感謝状の贈呈、メインステージでは、廃品を利用した打楽器奏者の山口ともさんとティコポによる、がらくた音楽会が催されました。また、模擬店やフリーマーケットでは多くの方で賑わい、清掃工場見学“ミニツアー”や、ごみ収集車展示、大声コンテスト、よさこい、バンド演奏等が行われました。実行委員の方々には開催前から準備いただき、また、地域役員の皆様には、当日早朝からお手伝いいただきまして、御礼申し上げます。ありがとうございました。

足湯情報

香り漂うゆず湯で足元ほかほか



ゆず湯には血行促進等に効果があるといわれていますが、今年度も12月21日から24日までの4日間「ゆず湯」を実施しました。黄色いゆずが浮かぶ中、ゆずの香りとともに、訪れた皆さんには、「ゆず湯」を楽しんでいただきました。

足湯施設について

・足湯施設では、物品販売許可を受けた団体が施設で作ったクッキー等を販売しています（不定期）。

「足湯施設運営連絡会」は、連絡協議会の代表者、足湯アダプトの推薦者、近隣住民の5名で構成されており、施設の管理運営に関すること、地域特性を生かした提案等を検討しています。

平成24年度 第1回足湯施設運営連絡会

○開催日 平成24年11月13日（火）

○議題

- 1 新委員への委嘱状の伝達
- 2 足湯施設の運営について
- (1) 足湯施設運営状況について（報告）
- (2) 意見・提案について
- 3 その他（会議内容）

委員の任期途中の退任に伴い、新委員の委嘱状の伝達が行われ、その後、足湯施設の設置等の経緯、運営状況や、取材の報告、苦情対応、平成24年4月の足湯5周年記念式典の報告、今年度実施した工事（足湯Bの石張り工事、南側フェンス工事）について説明し、質疑応答を行った。委員からは、今年度の足湯施設の運転状況について質問があり、温水発生器の故障に伴い、1箇所のみ足湯営業となったこと、修理を行って今後対応することを説明した。

平成24年度 第2回足湯施設運営連絡会

○開催日 平成25年3月1日（金）

○議題

- 1 足湯施設の運営について
- (1) 足湯施設運営状況について（報告）
- (2) 意見・提案について
- 2 その他（会議内容）

足湯施設の運営状況、物品販売の許可状況、苦情対応、足湯アダプトの活動状況、取材の報告、来年度に予定している工事内容、灯りまつりへの参加協力等について説明し、質疑応答を行った。委員からは、足湯の棚は作製して設置することはできないのか、足湯の温度が低かったり、故障が多いので、そういうことがないようにしてもらいたい、との意見をいただいた。

平成24年度第3回（第84回）連絡協議会（第3回えんとつフェスティバル実行委員会合同）

日 時 平成24年9月25日（火）午後7時から午後8時30分まで

場 所 小平・村山・大和衛生組合4・5号炉 3階 大会議室

【第3回連絡協議会】

1 あいさつ 連絡協議会 正木会長

2 議 題

(1) 組織市、衛生組合からの連絡、報告

①小平市

- マイバックキャンペーンが6月21日（木）にいなげや小平小川橋店で開催されたが、初めての試みとして、食物資源の資源化促進の啓発活動と合わせて実施した。クリーンメイト4名の方の協力を得て、のぼり旗を設置し、マイバック利用の呼びかけを行い、賞物を終えた方を対象にマイバックの利用調査、アンケートに協力いただいた方へマイバックを配布し、マイバック使用の啓発活動を実施した。当日のマイバック持参率は59.4％、マイバックを95個配布し、アンケートでは、マイバックは定着していると回答された方が30.2％、ほぼ定着していると回答された方が59.4％で、約9割の方がマイバックの利用が定着しているとの結果が出た。同時に行った食物資源の資源化促進の啓発活動については、食物資源循環モデル事業のパネルを掲示し、事業の周知を目的として実施した。内容は、アンケートに協力いただいた方が12名、食物資源由来堆肥を約60袋配布し、興味をお持ちの方へ説明を行った。第1回連絡協議会で報告済みであるが、食物資源循環モデル事業については、平成24年度は市内全域で600世帯を目標に事業を実施しているが、現在541世帯が参加いただいている。そのため、9月20日号の市報では、当初の参加要件5世帯1グループから3世帯1グループに変更し、追加の募集を行っており、近隣で興味のある方がいたら、ごみ減量対策課まで連絡いただきたい。
- 9月8日（土）に中央公園及びふれあい下水道館において、午前10時から午後3時まで、小平環境フェスティバルを実施した。例年、福祉会館前で実施していた小平エコフェスティバルを市制施行50周年ということで、開催場所を移し、規模を拡大して行った。当日は天候に恵まれ、前年より多い約4千名の方に来場いただき、フリーマーケットに46店、ステージに7団体参加いただき、有料粗大ごみの無料抽選配布、おもちゃの病院、太陽エネルギー見本市、ねずみ害虫相談会、下水道管の中を見るカメラ車と洗浄車の実演と展示、雨水浸透模型の展示、電気自動車の展示、子ども木工教室、陶磁器のリサイクル等が行われた。陶磁器のリサイクルでは、630キロの回収が行われた。今回の開催場所は初めてであったが、来場された方から好評をいただき、来年以降の場所については、今後検討して行く予定である。
- 小平市清掃事務所において、9月20日（木）午後2時から4時まで、小平市ごみ減量推進実行委員会との共催で、第2回目の陶磁器の拠点回収を実施した。当日は多くの市民に来場いただき、1,160キロの陶磁器の回収を行った。現在までの小平市における陶磁器の回収量（累計）は6、100キロとなっている。陶磁器の回収は、今後、拠点での回収を来年1月末と3月末の実施を予定しているが、詳細は市報等を通じて広報させていただくので、よろしくお願いしたい。

②東大和市

- 11月3日（祝日）、4日（日）に第43回東やまと産業まつりが開催されるが、市役所周辺において、当日は、リサイクルの家具の無料抽選会を行い、来場者の方々へ、抽選で無料配布するので、お立ち寄りいただきたい。
- 10月7日（日）に都立東大和南公園において、狛江市、武蔵村山市、東大和市と合同で、多摩3市うまいものフェアを開催する予定であるので、お越しいただきたい。

③武蔵村山市（事務局より報告）

- かたくりの湯については、今年の4月から行っていた改修工事が終了し、10月1日（月）にリニューアルオープンする。施設については、皆様に快適に御利用いただけるようドライサウナにテレビ、正面入口には足湯を設置し、レストランには、新しいメニューが登場する。当日は、午前9時30分からオープニングセレモニーを行い、期間中のイベントも予定されているので、お越しいただきたい。
- 10月20日（土）、21日（日）の2日間、「第7回村山デエダラまつり」が開催される。今年度は会場が変更されており、旧日産正門があった場所の西側の日産工場跡地にあるプロジェクト村山用地で行われる予定である。また、同時に環境フェスタも開催されるので、お越しいただきたい。
- 11月17日（土）、18日（日）に、食べ物の“フード”と地域の“風土”をかけ合わせた第2回Foodグランプリを市役所第2駐車場で開催する。参加者は、市民活動団体の方、自治会の方等であり、地元の食材を使った焼き物、揚げ物、蒸し物、武蔵村山市の文化や地域性を表したメニューの大会となるので、お越しいただきたい。

④衛生組合

（総務課）

- 組合では、全国交通安全週間に合わせて、松の木通りで収集車両の安全監視活動を行った。職員が道路端に立ち、安全監視を行ったものである。
- 前回の会議でも申し上げたが、この夏の節電対策として、焼却炉3つのうちの一番大きな3号炉を止めて、4・5号炉の2炉での運転としていたが、3カ月間順調にごみの処理ができたので、ピットにごみがそれ溜まっている状況ではなかった。9月28日から3号炉を稼動し、引き続き順調に処理ができる予定である。

（業務課）

「平成24年度 焼却施設維持管理状況一覧表」について説明。

（計画課）

- こもれびの足湯の運営についてあるが、電気設備点検のため停電となるため、9月27日（木）から10月1日（月）までの間休業する予定である。また現在、足湯は湯量不足のため1基運転となり、東屋のある足湯1槽とS字状の足湯1槽の運営となり、よろしくお願したい。また、足湯の工事は、10月下旬までの予定で玉川上水側の足湯の床張りと玉川上水側のフェンスの取替えを予定している。
- 広報えんとつ（全域版）を9月21日（金）に新聞折込みを行い、地域版も26日から28日に各戸配布を行う予定である。地域版には、連絡協議会の平成24年度第1回、第2回の会議録、えんとつフェスティバルの内容が掲載され、模擬店の特典もあるので、当日に持参いただきたい。

（質疑等）

特になし。

(2) 意見・要望について

特になし。

3 閉 会

― 司会交代 ―

【第3回えんとつフェスティバル実行委員会】

1 霜出実行委員長あいさつ

2 議 題

(1)フリーマーケットの抽選結果について（報告）

抽選会は9月19日（水）に、霜出実行委員長、事務局で行った。応募数は、小平市20グループ、東大和市26グループ、武蔵村山市11グループ、立川市 26グループ、地域枠9グループの合計92グループで、このうち、地域枠については全員当選し、他の地域は応募数を比例按分した当選枠を設定し、33区画分を抽選した。なお、抽選結果については、応募された方すべてに通知を発送したところである。

(2) 各部会の企画について

①イベント部会

- 別紙資料「イベント企画書（案）」について説明（清掃工場ミニツアー、クイズラリー、組合ブース、10台車の運転席見学会、大声コンテスト、ぬり絵deえんとつデコレーション〜こんなえんとつあったらいいな）
- 別紙資料「えんとつフェスティバル2012ステージ予定表（案）」について説明 新しい企画：山口とも、ゆり〜と、クリーンハッチャーズ

②模擬店部会

- 別紙資料「えんとつフェスティバル2012模擬店（案）」について説明 焼きそばを600人前、やきとりを1,000本に増量。デポジットの対象は、焼きそば・飲み物とする。焼きそば・フランクフルトは地域券の割引あり。クイズラリーの参加者に、わたあめ・ポップコーンの無料券（各100枚、計200枚）と大声コンテストの景品としてプレミアムチケットを用意する。
- 模擬店の手伝いをされる地域役員さんへのお願い事項を配付いただきたい。

③総務部会

- 会場配置図（案）について説明
- 舞台の製作状況・スケジュール、会場設営等の予定について説明

④企画委員長

- 今年度の会場レイアウトでは、舞台の右側で、模擬店の食器類の返却場所を設置し、模擬店で協力いただく地域役員の休憩場所も設置しているので、よろしくお願いしたい。
- ポスターの掲示を各公共機関に依頼しているが、各自治会にも掲示をお願いしたい。
- 美大生がオブジェを作成する予定であり、内容は子どもが入れる位の物を作りたいと考えている。
- 廃材を利用したトランポリンについては、現在作成中である。

<主な意見等>

- 模擬店担当者の連絡事項について、地域役員は8時30分まで集合とあるが、どこに集合か。
- ⇒えんとつ下（南側）をお願いしたい。
- ・よさこいの人数が増える予定だが。
- ⇒問題ないので、よろしくお願いしたい。
- ・会場レイアウトの返却場所には、飲み物の販売もあるので追加していただきたい。
- ⇒了解した。
- ・焼きとりは本数を増やしたが対応については。
- ⇒今年は、昨年の状況を踏まえ、人手を増やしていきたいと考えている。
- ・割引券の内容はどうなっているのか。
- ⇒広報えんとつ地域版を持参された場合、受付で焼きそば、フランクルトの割引券（50円引き）を渡している。
- ・わたあめ、ポップコーンの割引券は先着順なのか。
- ⇒現時点ではそのように行うが、全て無くなった場合は、景品を用意する予定である。

(3) 地域役員・実行委員の配置について

- 別紙資料「えんとつフェスティバル実行委員タイムテーブル」に基づき、全体の流れを説明。
- 別紙資料「えんとつフェスティバル2012地域役員分担（案）」について説明。
- 今回は第10回の記念事業のため、地域役員等の方の表彰を行う予定である。
- ・14日（日）も雨で中止となった場合は、返却ができない食材を格安で販売する「えんとつ市」を開催する。10時に組合3階の会議室に集合いただきたい。

<主な意見等>

- ・役員受付は何を行うのか。
- ⇒腕章やエプロン等を選ず予定である。
- ・13日（土）が雨の場合、会議室はどの程度入るのか。
- ⇒100人程度は入る予定である。

(4) その他

- ・実行委員で都合がつく方は、準備のため、前日の12日（金）の午後3時に集合するようよろしくお願いしたい。

3 その他

- ・10月9日（火）に場内の銀杏落としを予定している（雨天の場合は翌日）。都合がつく方、希望する方は、拾いにきていただきたい。
- ・表彰される方がおられる自治会長には、事務局で通知を準備しており、配布していただきたい。
- ・記念品は、当初の野菜の詰め合わせの予定からエプロンに変更させていただいたので、報告したいたい。

4 閉 会

平成24年度第4回（第85回）連絡協議会（第4回えんとつフェスティバル実行委員会合同）

日 時 平成24年12月18日（火）午後7時から午後8時30分まで

場 所 小平・村山・大和衛生組合 4・5号炉 3階 大会議室

【第4回連絡協議会】

1 会長あいさつ（正木会長）

2 議 題

(1) 組織市、衛生組合からの連絡、報告

①小平市

- 10月21日（日）に、第37回小平市民まつりが開催された。当日は、好天に恵まれ、13万人の皆様に来場いただいた。ごみ減量対策課では、会場内にブースを設置し、生ごみに関するアンケート等を実施した他、小平市ごみ減量推進実行委員会として、パレードにも参加し、ごみ減量等の啓発活動を行った。
- 年末年始の収集は、年末が12月31日（月）まで、年始が1月4日（金）からとなる。11月20日号及び12月5日号の市報で詳細を確認いただきたい。年末年始のごみ・資源収集カレンダーを自治会長あてに送付しているが、不足の場合は連絡いただきたい。
- 例年不要はがきの回収を行っているが、1月20日（日）～2月15日（金）まで市内郵便局に回収ボックスを設置して行う予定である。詳細は1月20日号の市報に掲載するので、ご覧いただきたい。なお、市役所及び東西出張所には年間を通して回収ボックスを設置しており、利用いただきたい。
- 陶磁器のリサイクル拠点回収であるが、小平市ごみ減量推進実行委員会の共催で、1月17日（木）及び3月21日（木）午後2時～4時に小平市清掃事務所で行う予定である。平成25年度以降もイベント等で実施予定であり、利用いただきたい。

②東大和市

- 12月31日（月）に一部の地域の可燃ごみを収集しますので、よろしくお願いしたい。

③武蔵村山市

- 年末の収集は12月31日まで市内半分の地域で行う予定であり、年始は1月4日から行う予定であるので、よろしくお願いしたい。12月1日号の市報において、年末年始のごみの排出に関し市民の皆様に啓発をお願いした。収集日以外の年末年始のご家庭ごみは各自で保管すること、早めの粗大ごみの申し込みやルールに沿ったごみの排出等についてホームページ等で啓発を行った。

④衛生組合

（総務課）

- 組合議会が11月20日（火）に開催されたが、23年度の決算等について審議された。23年度決算は承認いただいたが、皆様に關連する内容では、広報えんとつ地域版、えんとつフェスティバル補助金、足湯施設事業費の運営委託料や足湯施設の補修工事等があった。

（業務課）

「平成24年度 焼却施設維持管理状況一覧表」について説明。

（計画課）

- えんとつフェスティバルが盛況に開催でき、皆様の協力に御礼申し上げる。
- ・こもれびの足湯は湯量不足のため1基運転となっているので協力をお願いしたい。
- ・足湯床張工事とフェンス取替工事が終了し、皆様の協力に感謝申し上げます。
- ・12月21日～23日までの3日間、ゆず湯を行う予定であるので、利用いただければと思う。
- ・今年度も施設見学会を実施する予定であるが、事務局が提案するので、皆様に日程とコースを決めていただきたい。
- ⇒日程は3月21日（木）、22日（金）のいずれかとなった。コースについては、川越市資源化センターの見学、川越市内の散策等となった。参加人数の配分は、基本的に事務局に一任となった。
- ・詳細は、次の連絡協議会（2月下旬を予定）に示させていただきます。

(2) 意見・要望について

- ・各市のごみの減量について聞きたい。

⇒（小平市）地道であるが、分別の徹底により減量になるものと考えており、今後も広報等を進めていきたいと考えている。

（東大和市）他市と同様で、効果的なごみの減量対策が打てていない現状であるが、市民にごみ減量の意識を持っていただくため、要望があれば、市民向けの出前講座等で周知を行っている。

（武蔵村山市）ごみの減量は財政的な負担も減ることから、積極的に取り組んでおり、例えば、従来方法以外の生ごみ処理を研究すること、当市粗大ごみのリサイクルセンターでの資源分別後に組合へ搬入すること等やリサイクル情報誌等でごみ減量を周知している。

- ・小平市のからすよけネットは西部出張所に行かないともらえないが、府中市のように針金で丈夫なネットを貸し出してくれないか。
- ⇒（小平市）事前にごみ減量対策課に連絡いただければ、動く市役所でも配布可能であるので、よろしくお願したい。丈夫なネットは、今後研究課題としたい。
- ・足湯の湯量不足は、地下水が不足しているか、電気代等の関係で不足しているのか聞きたい。
- ⇒（業務課）地下水の不足ではなく、お湯をつくる機械が故障していることから、湯量不足となっているので、ご理解いただきたい。
- ・足湯の事情は分かるが、足湯を楽しみにされている方もいるので、対応していただきたい。
- ⇒（業務課）お湯をつくる機械の修理等を行っており、来月以降は対応できると思うので、ご理解いただきたい。
- ・4号炉のダイオキシンの値が高いが、何か理由はあるのか。
- ⇒（業務課）ダイオキシンは年1回測定しているが、この時の数値ということであって特に理由はない。

3 閉 会

― 司会交代 ―

【第4回えんとつフェスティバル実行委員会】

1 計画課長あいさつ

2 議題

(1) えんとつフェスティバル2012について

- ①開催結果について
- ②会計報告について

【事務局】

別紙「収支報告書」基づき説明。

- ・収入は総額1,259,714円、支出は総額1,164,361円、残額95,353円は来年度に繰越しする。

<主な意見等>

- ・ぬりえを担当したが、テーブルが平らであれば、画板はいらないと思うが。また、すのこも要らないと感じたし、ぬりえの裏面に名前欄を設けたらどうか。
- ⇒テーブルの工夫など、今後の参考としたい。
- ・無料券割引券をもらったが、売り切れて使えない方もいたが。
- ⇒来年度以降の検討課題としたい。

監査報告（宮内会計監査）

12月6日に、実行委員長、会計担当の立会いの下、会計監査を行った。事務局の報告及び帳簿類の照合をしたところ、フェスティバルの会計は適正に処理されていると認める。

(2) その他（意見・要望等）

特になし。

3 閉 会

平成24年度第5回（第86回）連絡協議会

日 時 平成25年2月26日（火）午後7時から午後8時まで

場 所 小平・村山・大和衛生組合 4・5号炉 3階 大会議室

1 あいさつ（霜出副会長）

2 議 題

(1) 組織市、衛生組合からの連絡、報告

①小平市、東大和市、武蔵村山市ともになし。

②小平市産業振興課

- 小平市産業振興課から、第8回小平グリーンロード灯りまつりへの参加の提案があった。
- ・今年度の日程は、平成25年8月3日（土）午後6時30分から9時、市内14会場の公園等で開催を予定しているとのことであった。
- ・灯りまつりについては、昔から市内に伝わる祭り灯ろうを小平伝統の文化としてとらえ、手作りの灯ろうを会場に持ち寄り、一斉に火をとますという趣旨のまつりである。
- ・既に、昨年4月の足湯5周年記念事業では、灯ろうを置いて実施しているところであるが、皆さんの賛同及び理解並びに協力を得られた場合、今回、新たな会場として、こもれびの足湯で開催を予定したいと考えているので、よろしくお願いしたい。
- ・後日、灯ろうの作製キットを配布するので、当日までに作製して、会場に持参いただきたいとのことであった。

（事務局）

- 連絡協議会でも意見をいただいたこともあるが、足湯を使用した地域交流イベントとして、参加したいと考えているので、承諾いただければと思う。地域の皆さんには、当日までに灯ろうを作製し、会場へ持参してもらうこと等があるが、協力いただけれ

ばと思う。

<質疑等>

- ・当日は、足湯開場時間を延長するのか。

⇒ぞういう形になる。

- ・足湯5周年記念事業のようにまつりを行うのか。
- ⇒市民手作りであり、皆さんの企画があれば、検討していくことになるが、参加していきたいと考えている。

（結 果）

連絡協議会では、了承された。

③衛生組合

（総務課）

- ・議会報告であるが、2月20日（水）に組合議会2月定例会が開催され、条例や予算など6つの議案が審議され、新年度予算としては、施設見学会、地域共生事業（えんとつフェスティバル）事業の予算、足湯管理運営経費、足湯施設改修工事などの予算が議決された。

（業務課）

- ・平成24年度焼却施設維持管理状況について説明。

（計画課）